



2



3

1. 桜島と鹿児島市内 2. 薩摩の小京都・知覧
3. 指宿の天然砂むし風呂

写真提供：鹿児島県観光連盟

自然と歴史にふれ、深める交流



1

ふれあい市民の旅

匠 匠市 誕生記念

秋の南九州3日間
霧島・指宿二大名湯めぐり

市では、匠瑳市誕生記念行事として、「ふれあい市民の旅」を実施します。

この旅では、霊峰高千穂峰のふもと・霧島温泉と、雄大な錦江湾をのぞむ指宿温泉に宿泊するほか、大自然・桜島の溶岩原を走り、近代日本発祥の地と島津家別邸・仙巖園で庭園美を堪能します。

また、薩摩の小京都・知覧では、歴史的建造物が整然と並ぶ武家屋敷群を散策、太平洋戦争末期の若き特攻隊員たちの遺品などを展示した知覧特攻平和会館を見学します。

このほかにも、たつぷりと南九州の雄大な自然と悠久の歴史にふれるこの3日間は、旅情をかき立て、思い出深き旅となることでしょう。

市民の皆さんが親睦と交流を深める「ふれあい市民の旅」に、ぜひ、ご家族や友達などを誘ってご参加ください。どなたでも参加できます。

■企画 匠瑳市
担当・企画課企画調整班
☎73-0081

■旅行催行業者
総武観光トラベル

■期日 10月25日(水)～27日(金)

■募集人員 200人

※先着順です。定員になり次第締め切ります。

■旅行費用 55,500円

■受け付け

8月1日(火)から総武観光トラベルで受け付け開始。※ただし、8月12日(土)～16日(水)および月曜日を除く。

■受付時間 9時30分～18時

○申し込みは、電話かFAX、または直接、総武観光トラベルに来店していただいても結構です。○FAXの場合は、「市民の旅」と書いて、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入してください。○部屋割りは、男女別の相部屋を原則とします。○参加決定者には、後日、詳細をご連絡します。

申し込みは

総武観光トラベル

匠瑳市八日市場イ481番地
(国道126号沿い
匠瑳警察署西)

☎73-2333
FAX73-2338



<旅行日程表>

期日	行程
10月25日(水) (1日目)	匠瑳市役所<4:30集合>～羽田空港～(航空機)～鹿児島空港～霧島ファクトリーガーデン<昼食>～関之尾滝～高千穂牧場～霧島神宮～霧島温泉<霧島国際ホテル16:30着>
26日(木) (2日目)	ホテル<8:30発>～くろず情報館阿萬屋～有村溶岩展望所～桜島～(フェリー)～鹿児島～仙巖園<昼食>～かるかん工場見学～指宿温泉<指宿海上ホテル16:30着>
27日(金) (3日目)	ホテル<8:30発>～長崎鼻<開聞岳を眺める>～池田湖～知覧<昼食>～酒匠工房GEN<おみやげ>～鹿児島空港～(航空機)～羽田空港～匠瑳市役所<20:30着>

※時刻は予定です。天候、道路状況その他により、コースは変更する場合があります。詳細は、参加者に直接連絡します。

故郷の力になりたい

俳優・地井武男さん
インタビュー
《後編》

7月号に続き後編をお届けします。今も忙しい仕事のスケジュールを調整してこの日だけは帰ってくるという八重垣神社祇園祭の思い出や、後輩たちへのメッセージを語っていただきました。

◎匝瑳市をアピール

(広) 広報) これからもテレビ番組に出て、どんどん匝瑳市を宣伝してください。

(地) 地井) 僕は匝瑳市のみなさん千葉県の銚子市を含むこの辺の宣伝のために、やれることは何でもやろうと思うし、力になれるものはなりたいですよ。郷里が活発で元気な姿を見るのは一番うれいからです。そのため言ってみれば起爆剤、刺激剤のような存在になりたい。例えば、僕がお祭りに来ることによって少し何かの刺激になれ



門を広げて、市としてもこういう効果があるから宣伝させてくれと、地元・地域の方に働きかけて欲しい。それがいい形になってくれれば大いに市の活性化につながると思っています。

ばいいな、そこにテレビカメラを連れてくれば、もっと刺激にならないかなどかつてね。

だからこれからもテレビの話などを誘致することはいくらでもやりたいんだけど、ただ残念ながら、この辺にはテレビカメラが入りたがるようなところが少ないのが現状。でもテレビというものは、自分たちでお金を出して来てもらうのは大変なこと、ある意味では向こうから来てくれたときに利用したほうがいい。だけど何でも撮らせていいって訳じゃないから、市でもその辺は理解して受け入れの

今は活字でいかに匝瑳市を出すかってことですよ。匝瑳って字は読めないんだから、これをいかに定着させるかがまず第一。でも携帯電話で「そうさ」って出して変換すれば「匝瑳」って出てくる、分らない人にはそう説明すればいいんじゃないですか。とにかく言葉で言っ

◎八重垣神社祇園祭

(広) 今年ももうすぐお祭りです。お祭りについて。

(地) 真夏の毎年8月4日・5日に聞く笛の音(ね)と太鼓の音っていうのはね、もう耳に焼き付いていて、これがどうしてかかっていわれても言えないんだな。この日が近づくと、東京にいてもその音がジャンガフジャンガフと耳に入ってきたりするのね。理屈じゃないんだよ。みこしを担いである地点からある地点まで行くだけの事だし、単調なリズムがずっと繰り返されるんだけど、これで細胞が活性化してくるんだね、今でも。

僕にとってこの祭りは、原点というのかな、自分がこうゼロになれるっていうか。そこから

東京で誰かとお芝居するとか、誰かとお仕事するっていう、秤(はかり)のゼロ地点みたいなもんでね。ですからこれなくしては、僕はないだろうと思っっています。自分の中で八重垣神社祇園祭はそういう存在ですね。

◎若者たちへのメッセージ

(広) 子供たち、若者たちにメッセージを。

(地) 若い人たちは目的意識を持つこと。

僕は小さい時から俳優になって目標を定めていたけども、誰でも自分がやりたい事を見つけたら、いろいろな方法で努力するとか先輩の意見を聞くとか、いろいろな方法が見つけられてくるし、またぶち当たるんだよね。自分の選んだ職業に対して前向きに一生懸命頑張らなければならないで生きることが大事だと思う。

僕は高校卒業してすぐ俳優になりたくて東京に行った。今思うと本当に俳優になるなんて無謀だったよね。本当に自分の一みたいなことで、それでもやってこられたのは自分の中の目的意識だけなんだ。何とか舞台に立ちたい、人前で芝居ができるようになって、そういう



目的意識がはっきりしていた。そうすると自分の中で欲しいと思うものは自分で手に入れようとする。それ以外のところには逆に目が向かなかつた。30歳位まで俳優として飯を食うことってどういうことかってことばかりを考えて、30歳を過ぎてやっと映画などの仕事が入るとん来るようになって、それは幸せだったと思う。目的意識を持った自分があったから今があるんだろうと。

目的意識を持って自分の目的のために一生懸命になると、周囲もついてきたり、いろんな人に出会えたり、時にはいろんなことで打ちのめされたり、また進んでみたりって事がある。単純に言うなら自分のやりたいことが好きになることだろうね。僕はこの仕事が好きです。お客さんが喜んでくれるってのはうれしいし、それでこそつらい時も頑張れるんです。

〈終わり〉